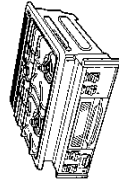


# ナイスアツプ用コンロ

## 取扱説明書 HR-A345RP-HRA HR-A345RP-HLA

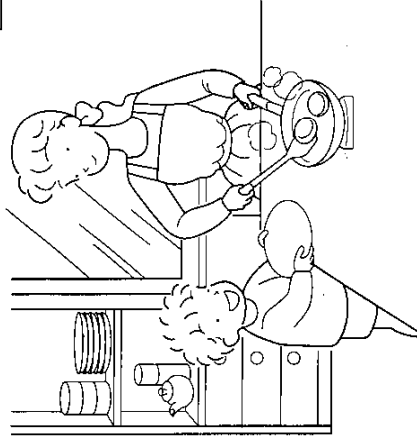
機器コード
1715532
1713533



- ごあいさつ  
このたびは、東京ガスのナイスアツプ用コンロをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。
- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
  - この取扱説明書の24ページが保証書になります。記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
  - 業者などが機器を使用するときは、その前必ず取扱説明書の内容を説明してください。
  - 本書を紛失された場合や、ご不明な点がございましたらお買い求めの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。

### 保証書付

型式名
C3G27RSTG
C3G27RSTGL



TOKYO GAS

TA15

### 取扱説明書

HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>  
HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>

1	7	1	5	5	3	2			
1	7	1	3	5	3	3	1	30	11

TOKYO GAS

※ご使用に際しての機器に関するお問い合わせは、ご使用地区の営業所または販売店にお願います。

販売店名

製造者  
株式会社 **ハ-ヴィ**  
ハ-マン株式会社 東京都港区長田馬場3-35-2 高田馬場第二長町ビル  
〒168  
電話 03(3366)8180  
社 東京都市岩田町6-2-35  
電話 0729(63)9800 〒578

MA-15

も く じ

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いや設置により生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

	<b>危険</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が看過して生じることが想定される内容を表示しています。
	<b>警告</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	<b>注意</b> この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族、来客および購入者から機器を譲渡された人なども含まれます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵 表 示	意 味
	上記表示項目を守らなかつた場合に起こりうる現象を表します。
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	高温 注意
	発火 注意
	一般的な 禁止
	火気 禁止
	分解 禁止
	接 触 禁 止
	必 ず 行 う

取 扱 説 明 書

HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>  
HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>

1 7 1 5 5 3 2  
1 7 1 3 5 3 3  
1 3 0 2 1

も く じ

特に注意していただきたいこと 1~7

1. 使用前に
  - 各部のなまえ 8
  - 使用前の準備 9
    - ・ 乾電池の取り付けかた 9
2. 使いかた
  - 中華鍋・鍋の選びかたについて 10
  - 点火・消火のしかた(コンロ) 11~12
  - 点火・消火のしかた(グリル) 13~14
  - 安全機能・温度センサーについて 15~16
3. 点検・お手入れ、他
  - 点検・お手入れ 17~19
    - ・ 点検 17
    - ・ 点検・お手入れ後のセット方法 17~19  
(バーナーキャップ・トッププレート・グリル水入れ皿)
    - ・ お手入れ 18
  - 故障かな?とと思ったら 20~21
  - アフターサービス 22
  - 仕様 23
  - 保証書 24

使用前に

使いかた

点検・お手入れ、他

# 特に注意していただきたいこと

## 危険

■ガス漏れ時の処置について  
 ガス漏れに気付いたときは、右記①～④の処置を行う。  
 また、絶対に火をつけない、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

① 火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。

② 火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

③ 販売店または、もよりのガス事業者に連絡する。

④ すぐの使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。

⑤ ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)

⑥ ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)

⑦ ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)

⑧ 販売店または、もよりのガス事業者に連絡する。

※周辺の電話は使用しないでください。

## 警告

●必ず銘板に表示してあるガス(ガスグループ)を使用する。  
 ※銘板の貼付位置は、電池ケースの裏に貼付しています。

●火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

●販売された場合も、供給ガスの種類・電源の種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。  
 ※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分がありません。

わからない場合や不明な点があればお問い合わせの販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

銘板 (例) 都市ガス用 13Aの場合

型式名: 都市ガス用  
 13A J COO00  
 製造年月・製造番号

ガスの種類  
 (ガスグループ)

●使用中に異常燃焼、異常音、臭気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

① パナーの火を消す。  
 (点火/消火ボタンを「消火の位置」にする。)

② ガス栓を閉じる。

●再使用するときは、11ページからの「使いかた」の手順に従って操作する。  
 わからない場合はお問い合わせの販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

取扱説明書	HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>	1	7	1	5	5	3	2	13031
	HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	3	5	3	3	

## 警告

●機器の設置・移転および付帯工事は、お問い合わせの販売店または、もよりの東京ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。

●設置された機器が、壁などの可燃物との離隔距離を確保しているか確認する。

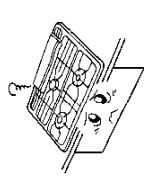

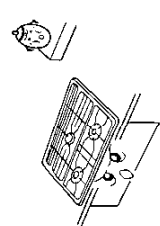

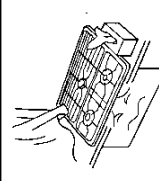

●壁などの可燃物との離隔距離が確保できない場合は、必ず防熱板を取り付けて防火措置を行う。(別添の「設置工事説明書」を参照してください。)

※防熱板の取り付けについては、お問い合わせの販売店または、もよりの東京ガスに相談してください。

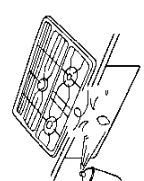

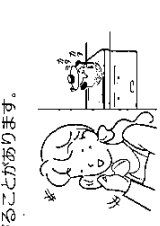

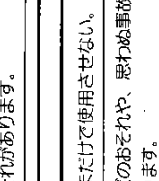

●壁などが異常に過熱され、発火・火災のおそれや思わぬ事故の原因になります。

# 特に注意していただきたいこと


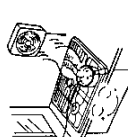

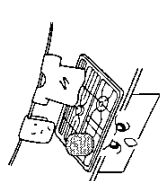
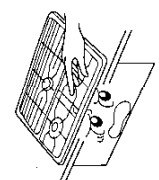

## 警告

- グリル排気口の上にぶさなどをついたりふさいだりしない。  

- ☒ 火災、不完全燃焼のおそれがあります。  

- 機器の周囲にスプレー缶を置かない。  

- ☒ 熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発するおそれがあります。  

- 機器を設置した後の機器周囲の改装（用り戸扉を取り付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。  

- ☒ 火災のおそれがあります。  


## 注意

- 機器の周囲でスプレー、ベンジン、ガソリンなど引火のおそれがあるものを使用しない。  

- ☒ 火災、不完全燃焼のおそれがあります。  

- 火をつけたまま離れたり、外出、就寝しない。  

- ☒ 火災のおそれがあります。  
※特にグリル使用中は注意してください。魚が燃え上がる場合があります。  

- 使用中、使用直後は操作部以外は、さわらない。  

- ☒ やけどのおそれがあります。  


## 注意

- ガス事故防止のために必ず確かめる。  
  - 使用中も正常に燃焼していることを確かめる。
  - 外出や就寝の際には消火を確かめ、必ずガス栓を閉じる。
- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。  

- ☒ 火災、不完全燃焼のおそれがあります。  

- この機器専用の付属品あるいは、指定のもの以外は、使用しない。  
  - 市販されているアルミはく製する受け皿は、使用しない。
- ☒ 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。  

- 使用中、使用直後は操作部以外は、さわらない。  

- ☒ やけどのおそれがあります。  


特に注意していただきたいこと

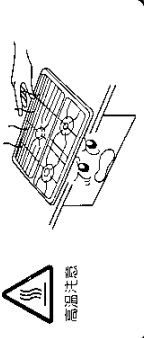
特に注意していただきたいこと

注意

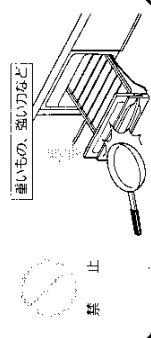
● 強火で使用する場合、やかんや鍋およびフライパンなどの取っ手に注意し、火力を調節する。  
☑ やけどや取っ手部分の破損の原因になります。

● トッププレートに水を入れて使用しない。  
● 機器内に水をこぼさない。  
☑ 機器故障の原因になります。

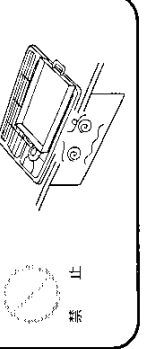
● グリル使用中は、グリル排気口から高温の排気熱が出るため、手や腕を近づけない。  
☑ やけどのおそれがあります。



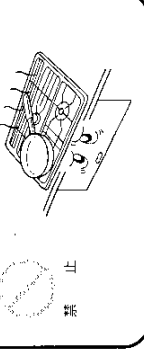
● グリルとびらに重いものを乗せたり、強い力を加えたりしない。  
● グリルとびらに物をぶつけたりしない。  
☑ グリルとびらがはずれ、けがのおそれや機器損傷の原因になります。



● コンロをおおおうような鉄板や直径が34cm以上の鍋は使用しない。  
☑ 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱の原因になります。



● グリル使用中は、なべやフライパンの取っ手をグリル排気口に向けて使用しない。  
☑ 取っ手が過熱され、破損ややけどの原因になります。



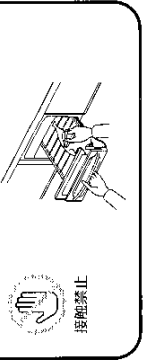
● グリル使用中および使用直後は、グリル水入れ皿の水が高温になっているため、グリル水入れ皿を持ち運びする際は、こぼれないように注意する。  
● グリル使用中および使用直後は、グリルとびらガラスに水をかけない。

☑ やけどのおそれやグリルとびらがガラスが割れてけがをすおそれがあります。

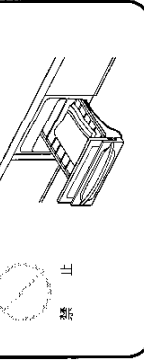
注意

特に注意していただきたいこと

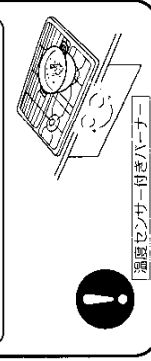
● 魚を取り出すときなど、グリルとびらがガラス部にさわらない。  
● グリル水入れ皿を引き出すときは、グリルとびら取っ手以外さわらない。  
☑ やけどのおそれがあります。



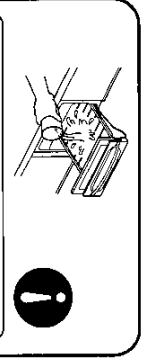
● グリル内に食品屑、布類などがあると発火するので、使用前に必ず点検する。  
☑ 火災のおそれがあります。



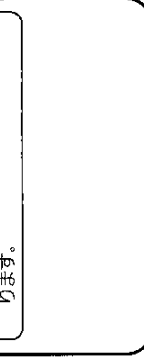
● 油料理は必ず温度センサー付きバーナーを使用する。  
※温度センサーが付いているバーナーは、天ぷら油過熱防止機能はたつきません。  
☑ 火災のおそれがあります。



● グリルを使用するときはグリル水入れ皿に必ず水を入れる。  
● 蒸けて使用するときは、その部屋、必ず水を足す。  
☑ 火災や異常過熱により、機器が焼損するおそれがあります。



● グリル水入れ皿に水以外のものを入れない。  
※アルミはくや市販のグリル石などをグリル水入れ皿に入れて使用しない。  
☑ 火災のおそれや機器焼損の原因になります。



● お手入れ時は、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。  
● 各部品の突起物に注意し、17〜19ページの「点検・お手入れ」で指定している部品以外はさわらない。  
☑ けが、やけどのおそれがあります。

● バーナーキャップを水洗いした後は水をよく切って乾かしてからセットする。  
☑ 異常燃焼や故障の原因になります。

# 特に注意していただきたいこと

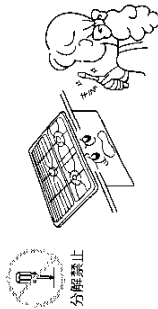
## お願い

危険・警告・注意の項目以外で特にご注意いただく項目

- 長期使用しない場合は、ガス栓を閉じてください。
- 各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
- 乾電池を乾電池ケースより抜いてください。

乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

- 機器の分解は絶対に行わないでください。ガス漏れや故障の原因になります。



- 乾電池の⊕、⊖の方向を間違えないでください。点火できなくなります。

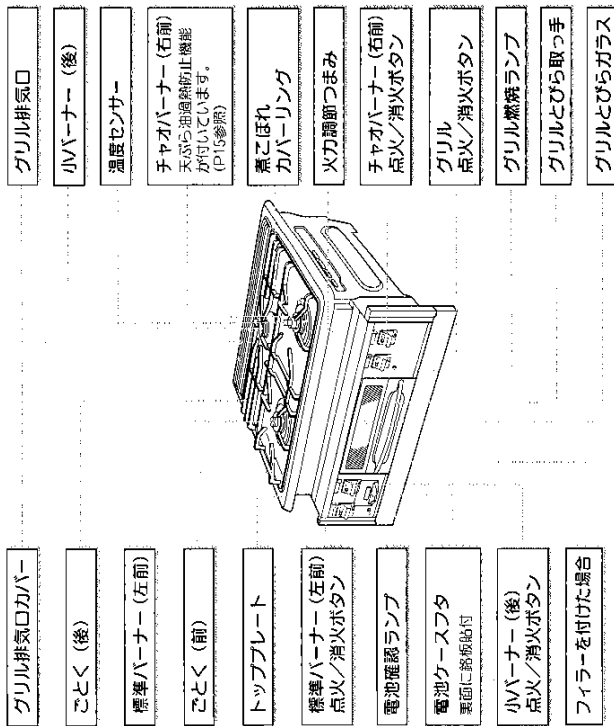
- グリル使用中は、グリルとびらを完全に奥まで押し込んでください。

異常過熱によるやけどのおそれや機器の変形・変色の原因になります。

# 1 使用前に 各部のなまえ

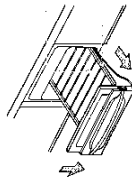
## 各部のなまえ

図はHR-A345RP-HRAタイプです。  
HR-A345RP-HLAタイプはチャオバーナーが左になります。



### 〔グリルとびら部〕

グリル水入れ皿を引き出すと  
グリルとびらガラスが下がる  
ようになっています。



### 特長

- ＝チャオバーナー＝  
天ぷら油過熱防止機能、焦げつき消火機能、コンロ消し忘れタイマー（約2時間）がついています。
- ＝グリルバーナー＝  
グリル消し忘れタイマー（約30分）、グリル燃焼ランプがついています。

HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>	1	7	1	5	5	3	2
HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	3	5	3	3

13061

# 1 使用前に

## ■ ガス栓を全開にする

ガス栓を全開にする



開ける

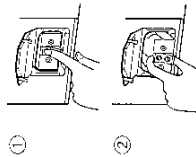
## ■ 乾電池の取り付けかた

- 電池ケースフタの心部を指でひっかけ、矢印の方向に開ける。  
※開けた状態で手を離すとフタは少し下がります。(約5mm程)



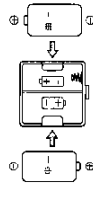
## 2. [電池ケースの取りはずし方]

- 電池ケース手前上の $\ominus$ を図のように指で上に押しあげ、指を離すと電池ケースが少し前に出てきて取り出せます。
- 乾電池が入っていない場合、電池ケースを図のように指で持ちあげながらつまんで取り出してください。



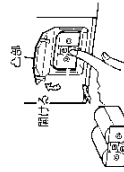
## 3. [乾電池の取り付け方]

- 乾電池の $\oplus$  $\ominus$ を確かめて、図のように矢印方向に従って電池ケースに組み込む。



## 4. [電池ケースの取り付け方]

- 電池ケース手前下の $\ominus$ を指で下に押しながら裏に当たるまで押し込む。  
※電池ケースを完全に押し込んだときにカチッと音がして固定されます。



- フタを開めるときは、開いた状態でフタが下がった分だけ上に押し上げて矢印②の方向に閉じる。



### お願い

フタは約120度(角度)程開きます。それ以上は無理に開かないでください。フタが破損する場合があります。

# 2 使いかた

## 中華鍋・鍋の選びかたについて

《チャオバーナー(温度センサー付)に適した中華鍋・鍋の選びかたについて》

### 中華鍋について

- 鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- 使用するとき、まれに鍋底が不安定となり、温度センサーが正しくはたらかないときがあります。このようなときは、別売の中華鍋用補助ごとくを使用しますと鍋が安定して使いやすくなります。

### 鍋の選びかた

- チャオバーナーに適した鍋は、底が平らな熱の伝わりやすい金属製(アルミなど)のもので、鍋底が温度センサーに密着しない鍋は使用しないでください。

## 使用前に

## 使いかた

鍋の種類と材質	煮ものなどの一般料理	天ぷらフライなどの揚げもの料理
アルミ製の鍋 	◎	◎
ホーロー・打ち出し、ステンレス(厚手)の鍋 	○	○
ステンレス製薄手(鍋底厚み2mm未満)の鍋 	○	×
鉄製の鍋 フライパン・中華鍋 	○	○
土鍋 耐熱ガラス容器・圧力鍋 	○	×

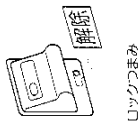
◎：最適。  
○：適しています。  
×：適していません。  
(温度を正しく検知できないおそれがあります。)

使いかた

## 2 点火・消火のしかた (コンロ)

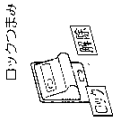
### 1. 点火前

ロックの位置にあるときはロックを解除する。  
 ● ロックの位置にあるときは点火操作ができない機構になっています。



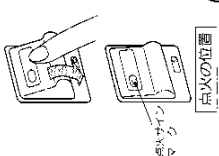
消火の状態でガス柱を全閉にしてください。  
 ! 開ける

■ ロックって？  
 ● 小さなお子様のおいたずら防止や使用しないときのために、点火/消火ボタンを動作しない機構です。  
 ● 点火の状態でロック操作を無理にしないでください。故障の原因になります。



### 2. 点火

点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し。  
 ● パチパチとスパークして点火します。  
 ● 着火を確認してから手を離してください。  
 ● 点火中、点火後は点火サインマークがオレンジ色に変わります。

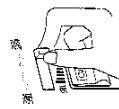


ひとくちアドバイス  
 点火の際は、こどくに鍋やかんをのせると点火がよりスムーズです。

● 点火してから数秒間押し続けてください。  
 ● 火力調節つまみが弱火側にある場合、確実に点火させるために火力調節つまみを強火の方向へ動かします。  
 ● チャオバーナーは約2時間連続で使用すると安全のため自動消火します。  
 ● 鍋などの水漏はふき取ってください。

### 3. 火力調節

火力調節つまみを左右に動かして調節する。



### 4. 消火

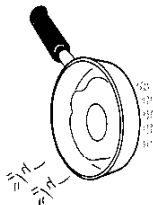
点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押しして手を離す。



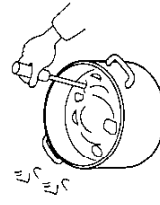
### 高火・消火のしかた (コンロ)

#### チャオバーナー (温度センサー付) を使用する時のコツ

- 予熱する際は  
 ● 目玉焼きなどの料理をするときは、1分位予熱をしてください。



- カレー、ジャムなどの加熱をする場合は  
 ● トロミのある料理は、沸騰するまで鍋を動かさないでください。  
 ● 水分の少ないものは水を加えてください。  
 ● 火力は中火位を使ってください。  
 ● 沸騰後は中身の温度にムラができないように時々混ぜてください。



- インスタント焼きそばなどをやる場合は  
 ● 水分が蒸発しても、加熱を続ける料理の場合、途中で消火機能が働いて消火することがあります。このようときは再点火してください。

## 使いかた

## 取扱説明書

HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>  
 HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>

1 7 1  
 1 7 1

5 5 3 2  
 3 5 3 3

13081



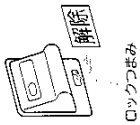
## 使いかた

# 2 点火・消火のしかた (グリル)

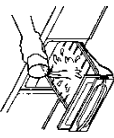
初めてグリルを使うときは、グリル水入れ皿にコップ1杯半分 (約300ml) の水を入れ、15分程度乾から焼きをしてみてください。(グリル扉内の油を焼ききるためで、煙やにおいが出ても異常ではありません。)

### 1. 点火前に

- ロックの位置にあるときはロックを解除する。
- ロックの位置にすると点火操作ができません。

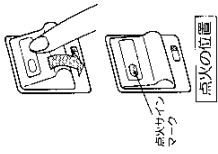


- グリル水入れ皿に必ずコップ1杯半分 (約300ml) の水を入れてください。



### 2. 点火

- 点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、
- パチパチとスパークして点火します。
- グリル燃焼ランプが点灯し、着火を確認してから手を離してください。
- 点火中、点火後は点火サインマークがオレンジ色に変わります。



### 注意

- 使用するバーナーの点火/消火ボタンを間違えて使用しない。
- 別のバーナーが点火し、火災のおそれがあります。
- 火力調節つまみが弱火側にある場合、確実に点火させるために火力調節つまみは強火の方向へ動かします。配管内に空気が入っていると点火しにくい場合があります。
- 配管内の空気が抜けるまで点火操作を繰り返してください。
- 約30分連続で使用すると安全のため自動消火します。

### グリル燃焼ランプ

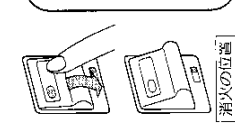


- 火力調節つまみを (強) 方向へ動かすと火力は強く (弱) 方向へ動かすと火力は弱くなります。
- 強火から弱火にするときは、火力調節つまみをゆっくりと動かしてください。

### 4. 消火

- 点火/消火ボタンを止まるまでいっぱい押し、手を離す。

- 消火させた後、すぐ再点火するとグリル燃焼ランプが点灯していても火がついていないことがあります。



### 注意

- 必ず火が完全に消えたことを確認してください。
- 使用後は必ず消火を確認め、ガス栓を閉じてください。

グリル使用中、使用直後は...

### 警告

- グリル排気口をふさがれない。

- 火災・不完全燃焼のおそれがあります。

### 注意

- 必ず水を入れて使用する。
- 水以外のものを入れて使用しない。
- 水の表面に脂が多くなったまら水を入れ替える。
- 安全のため、使用するたびに水を入れ替える。
- 魚などの焼きすぎに注意する。

- 火災のおそれや機器故障の原因になります。

- なべの取っ手などをグリル排気口へ向けけない。
- グリルとびらは必ずしめる。
- グリルとびら付近はさわらない。
- グリルとびらガラスに水をかけない。

- やけどや機器故障の原因になります。

点火サインマークは点火/消火ボタンの操作をすただけで色が変化します。点火の有無とは関係ありませんのでご注意ください。

### 点火・消火のしかた (グリル)

#### 予熱

- 表面のごややすいもの (つげ焼き、照り焼き、味噌漬けなど) や火の通りの悪い魚などは、予熱しないでそのまま焼いてください。
- 上記以外の魚や肉は、点火後約3分予熱し、温度があがってから材料を入れてください。

#### 焼きかたのコツ

- 魚を美しく焼くには、尾が手前にくるように焼いてください。
- ごややすい煙やひれなどには厚めに薪をふりかけるかアルミホイルでおおって焼いてください。

アルミホイル



## 使いかた

### グリル水入れ皿の取り出しかたと取り付けかた

#### 取り出しかた

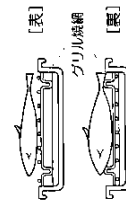
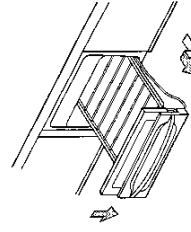
- グリルとびらをゆっくりと手前に止まるまで引き出し、少し持ち上げて、再度引き出してください。
- ※グリル水入れ皿の水をこぼさないように注意してください。
- グリル水入れ皿は、グリルとびら取っ手と一体となっています。
- グリル水入れ皿は、ストッパーがついていますので、手前に引き出すと止まります。
- グリルとびらを引出すと、グリルとびらガラスが下がります。

#### 取り付けかた

- グリルケースの底部へグリル水入れ皿を入れ、奥に当たるまでしっかり入れてください。

### グリル焼網の高さ調整

- グリル焼網の表・裏で高さを調節します。  
[表] → 焼網が高くになります。  
[裏] → 焼網が低くなります。
- 焼き物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網の裏側で焼いてください。



## 2 安全機能・温度センサーについて

### 安全機能のはたらき

バーナー	安全機能のはたらき
全バーナー	立消え安全装置 風などで火が消えたら自動的にガスを止め消火します。 焦げつき消火 焦げつきまたは空だきの場合自動的にガスを止め消火します。 (ブザー音(ビー)でお知らせします。)
チャオ (温度センサー付)	天ぷら油過熱防止 油の温度が高くなりすぎると自動的にガスを止め消火します。 (ブザー音(ビー)でお知らせします。)
グリル	コンロ消し忘れタイマー 点火後約2時間経過すると自動的にガスを止め消火します。 (ブザー音(ビー)でお知らせします。)
	グリル消し忘れタイマー 点火後約30分経過すると自動的にガスを止め消火します。 (ブザー音(ビー)でお知らせします。)

### 安全機能がはたらいたとき

- 点火/消火ボタンを「消火の位置」にしてください。



消火の位置

#### △注意

天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっていますので、やけどに注意してください。

### 揚げもの調理時の注意

#### △注意

- 揚げもの調理するときは、200ml(コップ1杯)以上の油で使用する。  
※油が少なすぎると、機能が正しくはたらかない場合があります。
- 揚げもの調理をされるときは、温度センサー(天ぷら油過熱防止機能)のついているチャオバーナーを使用する。



温度センサー付きバーナー

- チャオバーナーは、点火/消火ボタンの近くに「揚げもの用」と表示してあります。
- 鍋の種類や油の量によって自動消火したときの油の温度は異なります。

### 揚げもの用

HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>  
HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>

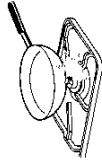
1 7 1 5 5 3 2  
1 7 1 3 5 3 3 13101

### 安全機能・温度センサーについて



禁止

- ### 温度センサーの注意
- 強いショックを加えたり、キズをつけたりしないでください。
  - センサー部はいつも清潔にしてください。センサー一部に汁やゴミが付着したときには、水に布を浸し、固くしぼってからふきとってください。また、やかんや鍋などの底もきれいにしてください。温度センサーが作動しない場合があります。



### 正しい鍋のせかた

- 鍋底は温度センサー頭部に密着するようにつけてください。



- このような状態では使わないでください。(正常に作動しなくなります。)



禁止

### 使いかた

- 鍋の重さは、温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)が必要です。特に片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。

### 焦げつき消火機能について

- 焦げつき消火時の焦げの程度は、鍋の材質・火力・内容物の種類によって異なります。

### こんな調理は標準バーナーでしてください。

- チャオバーナーは温度センサーが約250℃になると消火するようになっています。下記のような調理は途中消火することがありますので、標準バーナーを使ってください。  
・ワインナー炒めなど、から焼きに近い料理  
・焼網を使った料理(めざし、するめをあぶるなど)  
・いりもの料理(ごま・大豆など)  
・焼きもの料理(お好み焼き・たこ焼きなど)  
・炊飯

# 3 点検・お手入れ、他

- ガス栓を開き機器が冷えてから行ってください。
- けがをしないよう手袋などをして行ってください。
- フードの清掃の際など、コンロの上には絶対に乗らないでください。

## 点検・お手入れ

### 点検

点検項目	点検のしかた	処置
乾電池は？	(チャオバーナー(温度センサー付)、グリルバーナー) 使用時に電池確認ランプが点滅していませんか？ ●使用時電池が消耗してきたら、電池確認ランプが点滅します。さらに電池が消耗してくると、電池確認ランプが点灯し、ブザー音(ピー)となり消火及び使用できません。 (標準バーナー・小バーナー) ●電池が消耗してきたら「バチバチ」というスパークの音が約2回ぐらいの速さになります。	新しい乾電池と交換してください。 (9ページ参照) 乾電池の寿命はおおよそ1年が目安です。
各部品の取り付けは？	トッププレート・バーナーキャップ・蒸こぼれ力バーリング、ごとく、グリル排気口カバーなど正しく取り付けられていますか。	正しく取り付けしてください。 (下記「点検・お手入れ後のセット方法(1)」を参照)
バーナーキャップは？(コンロ部)	炎口が目づまりしていませんか、傾いたり浮いたりしていませんか。	お手入れのしかたをご覧ください。 (18ページ参照)
グリル水入れ皿は？	脏がたまっていますか。	
温度センサーは？	センサー頭部が汚れたり、キスはありますか。	

### お手入れ

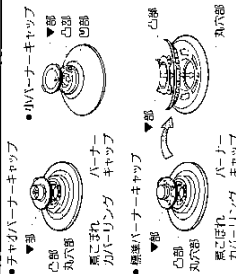
お手入れ箇所	お手入れのしかた
●トッププレート ●ごとく ●グリル排気口カバー ●グリル水入れ皿 ●蒸こぼれ力バーリング	台所用中性洗剤を混ぜた布やスポンジで汚れをふきとった後、乾いた布で水気をふき取ってください。 汚れが落ちにくいときは、台所用中性洗剤で洗った後、乾いた布で十分水気をふき取ってください。
●機器表面 ●操作部 ●グリルとびらガラス ●グリル水入れ皿 ●グリル網棚	乾いた布でよくふいてください。 汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を混ぜた布でふき取ってください。その後、乾いた布で水気をふき取ってください。 グリル水入れ皿はグリルとびらを取っ手を取りははずすと掃除がしやすくなります。(19ページ参照)
●バーナーキャップ	●お手入れをされるときは必ず柔らかめの歯ブラシまたはスポンジを使ってください。特に蒸部分を掃除してください。 ●蒸こぼれしたときは、必ず手入れしてください。 ●万一、黒色はがれでも使用上問題はありません。
●温度センサー	●温度センサーの頭部はかたくしぼった布で汚れをふき取ってください。 ※温度センサーのお手入れのとき、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

### 点検・お手入れ、他

#### 点検・お手入れ後のセット方法(1)

##### バーナーキャップの取り付けかた

- 図のように正しくセットしてください。
- ①トッププレートの上に蒸こぼれ力バーリングをのせてください。
- ②チャオ・標準バーナーキャップは▼部の下側にある凸部と丸凸部を合わせ、確実にセットしてください。
- 小バーナーキャップは▼部を手前側にして、▼部の下側にある凸部とバーナー本体手前側の凹部が合うよう、確実にセットしてください。
- ③ごとくをのせてください。  
(ごとくは前後で異なります。大きい方が前、小さい方が後ろです。)
- ※バーナーキャップが傾いたり浮いたりしていないことを確認してください。



**△注意**

- バーナーキャップを正しく取り付ける。
- ☒ 点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損するおそれがあります。

**トッププレート**

トッププレートを取りははずしてお手入れされた場合は、必ず図2のようにトッププレートをシールパッキンをシールパッキンにかぶさるように入れてください。

(図1)

(図2)






※ シールパッキン トッププレート

取扱説明書	HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>	1	7	1	5	5	3	2
	HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	3	5	3	3



### 3 故障かな?と思ったら

● 次のような現象は故障ではありません

- はじめてグリルを使用するとき、煙やにおいが出る。  

- パチパチとすべての点火装置で音がする。  

- 点火後や消火後にキシミ音が出る。  

- コンロとグリルを同時に使うと炎が赤色になる。  

- 消火時「ボン」と音がする。  


部品についている油が燃げるためです。13ページをご覧になり、から焼きをしてください。

同時点火方式となっており、すべての装置が「パチパチ」とスパークします。

加熱や冷却される際に金属が膨張・収縮して起こる音です。

焼き物の塩分（塩化ナトリウム）や水中に溶解しているカルシウムによるものです。

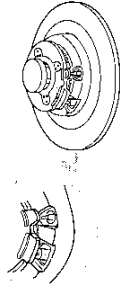
火が消えたときの音で異常ではありません。

● 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お問い合わせの販売店または、もよりの東京ガス（別紙事業所一覧）に連絡してください。不完全な処置や異常が原因で使い続けると事故のもとになります。

#### 立消え安全装置について

- 風や蒸こぼれで消火した場合は立消え安全装置が自動的にガスを止めます。（完全にガスが止まるまで粉砕がかかります。）
- 再び点火される場合は、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全に無くなるまでから点火操作をしてください。
- 立消え安全装置や点火装置に蒸こぼれや水滴がついたときはきれいにふき取ってください。また、点火装置や立消え安全装置に硬いものをぶつけないでください。（点火不良の原因になります。）

(例) 標準バーナー



点火装置 立消え安全装置

### 3 アフターサービス

#### アフターサービスのお申し込み

- 20～21ページの「故障かな?と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの東京ガス（別紙事業所一覧）に連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名	ナイスアップ用コンロ
2. 商品コード	HR-A345RP-HRA 1715532 HR-A345RP-HLA 1713533
3. 故障または異常の内容	(できるだけ詳しく)
4. お名前・ご住所・電話番号・連絡先	(できるだけ詳しく)

#### 転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびLPガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類をご確認のうえ、お問い合わせの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合があります。

#### 保証書

取扱説明書の24ページが保証書になっています。

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お問い合わせの販売店または、もよりの東京ガス（別紙事業所一覧）に相談してください。修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

#### 補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後5年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。
- その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

取扱説明書	HR-A345RP-HRA <C3G27RSTG>	1	7	1	5	5	3	2	13131
	HR-A345RP-HLA <C3G27RSTGL>	1	7	1	3	5	3	3	

